

次世代を担う子どもたちに伝えていきたい

NUMOでは、高レベル放射性廃棄物の地層処分を知ってもらうために職員が直接全国の学校を訪問し授業を行っています。

「出前授業」は小学校から大学の授業を対象に、2015年度から本格的に開始しました。2020年度からは、オンラインでも実施しています。授業では講義の他、実験や映像、ディスカッションも交えて、子どもたちの主体的な学びへの発展につながればと考えています。

これまでの授業実績やお申し込みについては「出前授業のご案内」をご覧ください。



※2019年度撮影

「出前授業のご案内」は
こちら

<https://www.numo.or.jp/pr-info/pr/academy/index.html>



オンライン授業の様子

出前授業実績



年度	授業総件数 (内、オンライン件数)	受講者 総数
2020年度	58件 (オンライン37件)	2013人
2021年度	75件 (オンライン33件)	2835人

★理科、社会科、家庭科、総合、エネルギー関係の授業などで扱っていただけます！

授業で使える教材もあります！



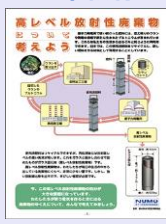
高レベル放射性廃棄物の地層処分を知ってもらうため、教育現場の先生方にご意見をいただき、小学生や中学生を対象とした基本教材を作成しました。また、ボードゲーム「ジオ・サーチゲーム」は、楽しみながらゲームをすることで、対話しながら子どもたちが自ら考える授業に活用していただけます。

HPからダウンロード
いただけます！

教師用 解説資料



中学生向け 基本教材



小学生向け 基本教材



基本教材に
ついてはこちら

<https://www.numo.or.jp/eess/materials/basic.html>

ボードゲームに
ついてはこちら

<https://www.numo.or.jp/eess/materials/boardgame/>



地層処分って何だろう？ ジオ・サーチゲーム

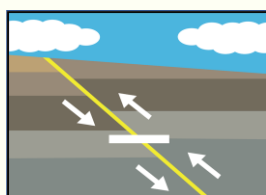


地層処分を安全に進めるために

「特定放射性廃棄物の最終処分における概要調査地区等の選定時に安全確保上少なくとも考慮されるべき事項」（以下、「考慮事項」）が正式決定されました。

2022年8月24日に開催された第31回原子力規制委員会で、最終処分施設建設地の選定時に、施設の設計による対応が困難であり、施設の設置を避けることにより対応する必要がある事象の内、「断層等」「火山現象」「侵食」「鉱物資源等」を「考慮事項」とすることが決定されました。これらの事項は、概要調査地区等の選定時において、適切に考慮されるべきものとされています。NUMOは、今回の考慮事項等をふまえ、評価を進めてまいります。

「考慮事項」の概要



断層等

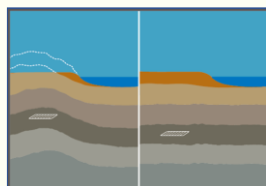
活断層やその活動に伴い損傷を受ける領域、規模が大きい断層などを避けること。



火山現象

第四紀火山の火道、岩脈[※]等、火山の中心からおおむね15km以内の場所を避けること。新たな火山が生じる可能性のある場所を避けること。

※マグマが岩盤の割れ目に入り込んで固まったもの。



侵食

将来、侵食を受けても一定の深度を確保すること。



鉱物資源等

経済性が高い鉱物資源の存在の記録がないこと。地温勾配[※]が著しく大きくないこと。

※地下へ深さが増すにつれて、温度が上昇する割合。

様々なメディアを通して「地層処分」をご紹介します！



◆ ABCクッキングスタジオ



ワインの味わいには地質が関係していることをご存じですか？
ABCクッキングスタジオの生徒さんがワインを通して地層処分に必要な地質環境について学びました。



ABCクッキングスタジオの広告はこちら

https://www.abc-cooking.co.jp/plus/feature/202208_numo/

◆ マイナビニュース



カンニング竹山さん、篠田麻里子さん、越智ゆらのさん出演のTwitter番組。今回は「幌延深地層研究センター」を訪問し、普段見ることのできない地下350mに造られた高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する研究施設に潜入しています。



マイナビニュースの広告はこちら

<https://twitter.com/takeyamake2021/status/1560506849895632896?ctx=HHwWgMC-mcmthKgrAAAA>